

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年6月20日

【事業年度】 第187期(自平成22年4月1日至平成23年3月31日)

【会社名】 ヤマハ株式会社

【英訳名】 YAMAHA CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 梅村 充

【本店の所在の場所】 浜松市中区中沢町10番1号

【電話番号】 053(460)2158

【事務連絡者氏名】 経理・財務部長 山畑 聡

【最寄りの連絡場所】 東京都港区高輪二丁目17番11号
当社 営業事業所管理センター東京事務所

【電話番号】 03(5488)6611

【事務連絡者氏名】 営業事業所管理センター長 朝生 雄二

【縦覧に供する場所】 ヤマハ株式会社営業事業所管理センター東京事務所
(東京都港区高輪二丁目17番11号)
ヤマハ株式会社営業事業所管理センター大阪事務所
(大阪市此花区島屋六丁目2番82号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年6月27日に提出いたしました第187期（自平成22年4月1日至平成23年3月31日）の有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(連結損益計算書関係)

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

注記事項

(損益計算書関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【注記事項】

(連結損益計算書関係)

(訂正前)

前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
1 たな卸資産の収益性の低下による簿価切下額 売上原価 575百万円 (後略)	1 たな卸資産の収益性の低下による簿価切下額 売上原価 <u>365</u> 百万円 (後略)

(訂正後)

前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
1 たな卸資産の収益性の低下による簿価切下額 売上原価 575百万円 (後略)	1 たな卸資産の収益性の低下による簿価切下額 売上原価 300百万円 (後略)

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【注記事項】

(損益計算書関係)

(訂正前)

第186期 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	第187期 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
(中略)	(中略)
2 たな卸資産の収益性の低下による簿価切下額 売上原価 407百万円 (後略)	2 たな卸資産の収益性の低下による簿価切下額 売上原価 474百万円 (後略)

(訂正後)

第186期 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)	第187期 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)
(中略)	(中略)
2 たな卸資産の収益性の低下による簿価切下額 売上原価 407百万円 (後略)	2 たな卸資産の収益性の低下による簿価切下額 売上原価 191百万円 (後略)